

日本で検出された放射性キセノンに関するATM解析結果 ATM analysis results on radioxenons detected in Japan

*木島 佑一¹、山本 洋一¹、富田 豊¹

*Yuichi Kijima¹, Yoichi Yamamoto¹, Yutaka Tomita¹

1. 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

1. Japan Atomic Energy Agency

日本原子力研究開発機構は、CTBT機関と共同して北海道幌延町及び青森県むつ市にそれぞれ移動型希ガス観測装置（TXL）を設置し、2018年から放射性キセノンの観測を行っている。これにより、現在日本ではCTBT高崎放射性核種監視観測所を加えた合計3つの観測点でCTBT検証のための放射性キセノンの観測を実施していることになる。これらの観測点で検出された放射性キセノンの放出源を調査するため、大気輸送モデル（ATM）による放出源推定解析を行った。ここでは3観測地点での放射性キセノンの観測結果及びATM解析結果について報告する。